

みんきょう便り 第11号

平成26年12月19日発行
みんきょう・・・三島町民生児童委員協議会の略です



三島町民生児童委員協議会
〈広報委員〉

北館 長 一
五十嵐 和 吉
栗城 和 代

事務局/三島町社会福祉協議会

□■□みんきょう活動日記□■□

3町村（三島町・金山町・昭和村） 民生児童委員協議会合同研修会

〈普通救命講習会〉



↑消防署員の指導のもと真剣に実技に取り組む
民生・児童委員の皆さん

去る9月2日に、金山町で開催されました。この研修会は、共通の課題を抱える三町村の委員43名が一堂に会し、相互の交流と地域福祉活動の一層の推進を図るものです。

今年の内容は恒例により、消防署員を講師に招き、一次救命処置について実技を通じて学びました。心肺蘇生法の実技では、『肘を真っ直ぐにして自分の体重をのせる』など、汗ばむほどに取り組みました。

AED（自動体外式除細動器）では、『怖がらずに機器の音声の指示に従って』実施することを学びました。

後日、【普通救命講習終了証】を頂きました。もしも救命の必要な場面に遭遇したならば、慌てずに回りの方に声をかけ協力し合いながらできることをしっかり実施することに心掛けたいと思います。

【報告者 主任児童委員/北館 長一(西方)】

三島町民生児童委員協議会研修

今回の視察・研修は、福島市に行き、福島県警察本部と福島県立美術館を見学し、また二本松市では、福島県男女共生センターの「福祉機器展示室」を視察してきました。

福島県警察本部では、普段目に見ることができない「通信指令室」と「交通管制センター」を見学させていただきました。

「通信指令室」では県内全ての110番通報を24時間体制で対応しており、1日に600~1,000件の通報を受信するそうです。中には間違いやいたずら電話も30%あるそうです。室内には、大きなモニター画面があり、ここに居ながら県内全地域を把握することができ、パトカー等の指示もここで一括して行うそうです。

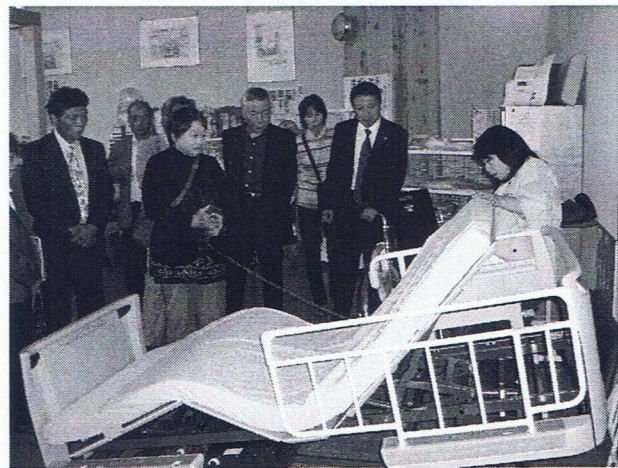
「交通管制センター」では、県下4,000の交通信号機を管理しており、県下全域の交通情報の収集、制御、伝達を行います。車のスムーズな流れを維持することにより、交通渋滞や交通事故の減少、交通公害の防止、省エネルギーと環境を保護する効果があるそうです。

二本松市にある福島県男女共生センターの「福祉機器展示室」においては、介護・福祉機器が750点も一堂に展示されており見学することができました。高齢者モデルの浴室、キッチン、トイレ、歩行器、段差があっても大丈夫な車イス、履きやすく履かせやすい靴等、時代の流れを感じました。

福島県立美術館の企画展「小川千鶴展」は時間の関係上駆け足になりましたが、今年の視察・研修は、非常に有意義に感じました。

【報告者 滝原・早戸地区担当/五十嵐 和吉】

→ ↓
車いす・介護用ベットなどの
日常生活用品を実際に動か
し、最新機能を体験しました。



一人暮らし高齢者親睦旅行記

主任児童委員 / 二瓶範子（名入）

9月25日、あいにくの小雨の中、一人暮らし高齢者親睦旅行が実施されました。8名の参加者と6名のスタッフの小人数でしたが、心踊らせて出発しました。

最初に、磐梯町の慧日寺に到着。資料館をゆっくりと見学し、小道を登って慧日寺金堂を拝観しました。金堂前で記念撮影。みなさんいい顔ですね。

次に道の駅「ばんだい」に寄りお買物を楽しみました。その後車は猪苗代湖畔を走り、長浜ではゆっくりと湖を眺め、「今日は遊覧船に乗らないのか。残念！」の声有り）強清水に着きました。ここで生蕎麦と天婦羅の昼食を取りながら和気藹藹とおしゃべり。丁度御彼岸中ということもあり、饅頭と鯉の天婦羅を求める方も数多くいらっしゃいました。お腹も満たされたところで、伊佐須美神社へ出発。ここでは貸し切りで宮司さんの話を聞きました。伊佐須美神社のいわれと参拝する時の順序-【最初に感謝の言葉を述べる。次に他人の為にお参りする。最後に自分の為にお参りする。】を教わり、「そーか、そーか」と合槌を打ちながら聞き入っていました。強運を授かるお守りも買い求め、皆さん大事に抱えていました。

その後、中田観音へ。観音様前のお店の「お姉さん」に会い、「今日はもう店閉いだから、お茶は出せないよ〜」「お茶楽しみにきたのにな〜がっかり」というやり取りもありました。皆さん何度も来てらっしゃるので顔見知りなんです。その「お姉さん」から「お参りする時は先に鐘を鳴らして『来ましたよ。これから賽銭入れますよ』と合図をしてから賽銭を入れるんだよ」と教わり、「成程、成程」と言いながらしっかりとお参りをしました。

帰りの車中で「今日は3つもお参りをしてきたから御利益があるぞ・・・そうだ、そうだ」と話しながら皆大満足でした。道中、安全走行を心掛けて下さった酒井さん、本当に有難うございました。参加して下さい皆様、色々な事業で参加できなかった皆様、又来年お待ちしております。

それまでお元気で。ごきげんよう。



慧日寺金堂前で記念撮影

～あなたの相談相手～民生委員・児童委員はあなたのそばにいます～

毎月第1木曜日は定例会が行われています

毎月第1木曜日は、民生委員・児童委員、町民課・町包括支援センター、社会福祉協議会の関係者が出席し、定例会が開催されています。情報交換や課題の検討など関係者が情報を共有、協力し活動を営めるようにするのが目的です。

12月の定例会は4日に行われました。この日は、福島県社会福祉協議会発行の福祉情報誌「はーとふるふくしま」の取材班が三島町民児協の活動取材したいと三島町を訪れていました。

この定例会では、委員が輪番制で司会、進行を務めます。又、三島町民児協独自の「スピーチタイム」を設けており、日々の活動の中で感じる事、困りごとなどをストレートに発表し合っています。

「助けてほしい」と気軽に手をあげることができる福祉のまちづくりを目指して、地域とのつながりがきれているような方、困難を抱えながらも「福祉の世話にはなりたくない」と考える方に対しては、一軒一軒訪問して具体的にどのような機関、団体がどのように支援していくかを丁寧に説明することが重要と考えています。そして、支援を切れ目なく継続していくことこそが要援護者を守ることに繋がっていくと考え、日々活動しています。



お気軽にご相談下さい

【編集後記】

9月3日の敬老会はお弁当を食べながらおしゃべりしたり、笑ったりしてもりあがり楽しい一日を送ることができました。参加されましたおじいさん、おばあさんの元気さはすごいと思いつつ感心しました。自分もみならず年をとっていききたいものです。

これから本格的な冬の季節となります。体をいたわって風邪等ひきません様にそして一オずつふえていく年とは仲良くしていつまでも元気に過ごされますようにお祈り致します。 [広報委員 栗城 和代(宮下)]